

事業名	日本語教室事業				
予算	歳入予算 (円)	歳入実績 (円)	歳出予算 (円)	歳出実績 (円)	
令和2年度			委託料518,000	委託料386,000	
令和3年度			委託料495,000 使用料及び賃借料 35,000	委託料386,000	
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則			
	市の基本計画	▼狛江市前期基本計画 まちの姿6「人権が尊重され、市民が主役となるまち」 施策1-①「平和の希求・人権の尊重」方向性4「多文化共生社会の推進」 まちの姿6「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性1「学びの環境づくり」 ▼第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針(3)教育環境の整備 ③個に応じた教育の実現に向けた環境整備 基本方針(4)生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり			
事業目的	国際理解及び国際交流の一環として、外国から来た方々に対して、日本語の学習機会や日本の文化と生活規範の継続的な学習機会を提供する。	持続可能な開発目標 (SDGs)			
事業内容	開催頻度	毎週土曜日 午後7時～9時 (計28回開室)			
	新規・継続	継続	実施主体	市	
	実施対象	外国籍の方 日本語学習を支援したい方	参加者数	延614人 (生徒284人)	
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由		評価	
	＜周知＞ 市民に周知されているか	広報こまえやチラシ、教育委員会及び市民活動支援センターHPにて周知を行った。また、新規の協力者(指導ボランティア)向けに、毎年説明会も実施している。		公民館 B	公運審
				全体	
	＜環境＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	インターネットを活用したリモート授業やオンライン教材について導入できないかを令和3年度から検討した(令和4年度に導入)。親子連れの生徒がいた場合に、子どもを幼児室で見守るスタッフが不足しているのは課題と言える。		公民館 A	公運審
				全体	
	＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	生徒及び指導者の登録者のうち、約7割の方に年間を通じて参加していただいたことから、参加者からは一定の支持をいただいていることが分かる。さらなる事業改善に向け、指導者や生徒のニーズを把握する必要がある。		公民館 B	公運審
全体					
＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	日本語学習の支援だけではなく、外国籍の方と触れ合うの交流の場にもなっている。ただ、コロナにより、以前は実施していた日本文化の学びの提供(館外授業)やスピーチ大会(いべんと西河原)が出来ていないため、代替案を検討する必要がある。		公民館 B	公運審	
			全体		
＜居場所＞ 参加者の居場所と成り得るか	生徒及び指導者の登録者のうち、約7割の方に年間を通じて参加していただいたので、参加者の居場所の1つになっていると言える。コロナ禍により、参加者同士の仲を深める懇親会(飲食を伴うもの)等が中止となってしまったため、来年度以降できるよう工夫したい。		公民館 B	公運審	
			全体		
今後の課題	▼協力者及び学習者の満足度やニーズを客観的に把握できるようにするため、アンケート等を実施する。 ▼インターネットを活用した事業(リモート授業やオンライン教材)を取り入れ、参加者のさらなる利便性の向上を図る。 ▼コロナ禍においても、生徒の日本語学習における集大成を発表する場や、参加者同士の懇親を深める場を提供できるようにする。				
総合評価	▼コロナ禍をきっかけに、インターネットを活用した事業の実現に向けて、準備ができた点は良かった。引き続き、インターネットを活用した教室の運用方法を検討する。 ▼手指の消毒や検温、マスクの着用等を徹底し、新型コロナウイルスの感染者を出さずに無事に閉校式を迎えることができた。館外授業や懇親会等が中止となってしまった場合でも、その埋め合わせができるような代替策を用意しておく必要がある。				



Komae City's Japanese School, 2021

2021年度 狛江市日本語教室简介

狛江市日本語教室のご案内



Komae City Community Center
The Steering Committee of Komae Japanese School
狛江市公民館 日本語教室運営委員会
狛江市公民館 日本語教室運営委員会

Japanese classes are available at Nishigawara Community Center.

狛江市公民館的西河原公民館内开设有日本語教室。

狛江市公民館では、西河原公民館で日本語教室を開催しています。

- Eligibility for participation
: Anyone can participate.
参加資格：没有限制
参加資格：どなたでも参加できます。

- Admission : Any time
入会时期：随时
入会时期：随时

- Fees : Free
費用：免費
費用：無料



- Lesson contents
: All students are divided into small groups (1-4 students in a group) according to their levels and needs, and each group is taught by a volunteer teacher (not necessarily trained but ready to help) using textbooks, mainly *Everyone's Japanese* and *Ippo Nihon-go Sanpo*.
The lessons are very flexible. Some students study Kanji, some study Japanese conversation.

学习内容：从零基础开始，按日语熟练程度设有多个课程

使用「みんなの日本語」，「いっぽ にほんご さんぽ」等日语学习用教材
另外，也开设「日本語検定考試対策」「汉字学习」等课程。

学習内容 : 初心者から上級まで幾つかのクラスがあります。

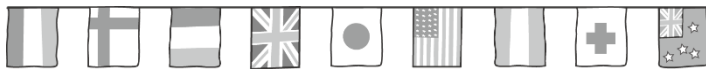
教科書は「みんなの日本語」、「いっぽ にほんご さんぽ」等を使用しています。
その他「日本語能力試験の受験」，「漢字学習」のクラスなども開設しています。



○ School Year of 2021 : Apr.10.2021～Mar.19.2022
 開設期間 : 2021. 4. 10～2022. 3. 19

○ Learning day : Every Saturday 7:00 p.m. ～ 9:20 p.m.
 上課日程 : 每周六 下午 7:00 ～ 9:20
 : 每週土曜日 午後 7時～9時 20分

月	Month	Week 1	Week 2	Week 3	Week 4	Week 5
4	APR.		10(土)開校	17(土)	24(土)	
5	MAY.	1(土)	8(土)	15(土)	22(土)	29(土)
6	JUN.	5(土)	12(土)	19(土)	26(土)	
7	JUL.	3(土)	10(土)	17(土)	24(土)	休
8	AUG.	夏休	-Summer	Vacation-	夏休	
9	SEP.	4(土)	11(土)	18(土)	25(土)	
10	OCT.	2(土)	9(土)	16(土)	23(土)	30(土)
11	NOV.	6(土)	13(土)	20(土)	27(土)	
12	DEC.	4(土)	11(土)	18(土)	冬休	
1	JAN.	冬休	8(土)	休	22(土)	29(土)
2	FEB.	5(土)	12(土)	19(土)	休	
3	MAR.	休	12(土)	19(土)閉校		



The place of Learning & Application
 Nishigawara Community Center 2-35-1 Moto-izumi, Komae City
 Tel: 03-3480-3201
 上課&申請地点 : 西河原公民館 狛江市元和泉 2-35-1
 學習場所&申込場所 Tel:03-3480-3201

狛江市日本語教室

ボランティア募集 説明会

毎週土曜日、午後7時から狛江市西河原公民館で日本語を学びたい方に学習支援を行っています。

ボランティア内容

△ 日本語の学習支援 △

指導経験の有無は問いません、教材は準備します
2月6日より3回 講習会を開催します

△生徒同伴幼児の見守り△

学習中の親に代わり幼児を見守ります

△事務局 スタッフ△

運営に係わる諸活動

説明会

: 1月16日(日) 場所 こまえくぼ1234
午前10時30分

: 1月23日(日) 場所 西河原公民館 学習室3
午前10時30分、午後1時30分、

申込先

狛江市西河原公民館 日本語教室担当

Tel 03-3480-3201

Email: nishikou@city.komae.lg.jp

主催: 狛江市日本語教室 共催: こまえくぼ1234

日本語ボランティア基礎講座

参加者募集

これから日本語学習支援ボランティアを始めてみたい方

主催：狛江市日本語教室 共催：こまえくぼ1234

開催日時：2月6日(日)/13日(日) 10時～15時 昼休1時間

会場： 狛江市中央公民館 第4会議室

2月20日(日) 10時30分～12時30分

会場： こまえくぼ1234

参加費： 無料

講師： にほんごの会 講座講師

内容： テキスト『いっぽ にほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室 初級1、2』
(スリーエーネットワーク)の順を追いながら、「初級日本語」を概観します。

申込先： 狛江市西河原公民館 日本語教室担当

Tel: 03-3480-3201 Email: nishikou@city.komae.lg.jp

プログラム

- 第1回 2月6日(日) 中央公民館 講師 真殿 直子
10時～12時 *日本語学習支援ボランティアの役割
*まったく日本語力ゼロの学習者への接し方 ほか
・最低限知っておきたい文法知識 — 名詞文
13時～15時 ・最低限知っておきたい文法知識 — 形容詞
「い形容詞」「な形容詞」
- 第2回 2月13日(日) 中央公民館 講師 天坊 千明
10時～12時 *動詞文「～は～ます」で日常生活を話す
・時制語 ・基本的な助詞
・最低限知っておきたい文法知識 — 動詞の分類
13時～15時 *動詞「て形」「ない形」で広がる世界
・最低限知っておきたい文法知識 — 動詞の活用1
- 第3回 2月20日(日) こまえくぼ1234 講師 平野 真理子
10時30分～12時30分
動詞「辞書形」「た形」「普通形」といろいろな文型
・最低限知っておきたい文法知識 — 動詞の活用2
・テキストからコミュニケーションへ

以上

令和3年度日本語教室 参加者数 実績

開室日	学習者	指導	スタッフ	協力者	合計
4月10日	10	13	3	16	26
4月17日	12	15	3	18	30
4月24日	10	13	3	16	26
6月26日	4	10	3	13	17
7月3日	4	9	3	12	16
7月10日	6	10	3	13	19
10月2日	7	10	3	13	20
10月9日	9	9	3	12	21
10月16日	10	9	2	11	21
10月23日	13	9	3	12	25
10月30日	11	8	3	11	22
11月6日	13	10	2	12	25
11月13日	13	7	2	9	22
11月20日	14	8	3	11	25
11月27日	9	8	3	11	20
12月4日	11	9	3	12	23
12月11日	9	9	3	12	21
12月18日	10	8	3	11	21
1月8日	10	8	3	11	21
1月22日	9	5	2	7	16
1月29日	10	8	3	11	21
2月5日	7	4	3	7	14
2月12日	12	6	3	9	21
2月19日	11	7	2	9	20
2月26日	10	8	3	11	21
3月5日	17	9	3	12	29
3月12日	14	11	3	14	28
3月19日	9	11	3	14	23
合計	284	251	79	330	614

対 象：外国人、日本語学習の必要な方
実施回数：28回
参加人数：延べ 614 人（生徒 284 人）

■内容：

生活の中で言葉に困っている方や日常の交友関係を広げたい外国人が、日本の社会に溶け込み楽しく充実した生活を送ることができるように、公民館の日本語教室として実施している。運営は日本語教室運営委員会に委託しており、スタッフは運営委員のほか、公募による指導者ボランティアにご協力いただいている。

日本語教室全体の交流会を通じて参加者同士の交流を図るとともに、日本についての知識を深めるために年1回の館外学習（令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）も行っている。

<実施日時>

- ・通常授業：毎週土曜日、午後7時～9時20分 計28回
※まん延防止等重点措置の適用期間は、開室時間を30分短縮して実施した。
- ・新規協力ボランティア向け説明会（1/16、1/23に実施）
- ・日本語ボランティア基礎講座（2/6、2/13、2/20実施）

<生徒の主な出身地域>

ネパール、中国、フィリピン、ベトナム、その他

■担当者より：

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うまん延防止等重点措置の適用により、開室時間が30分短縮された期間があったものの、前年度と同様に感染症対策を徹底しながら、無事に1年間開校することが出来た。コロナ禍でも多くの方々にご参加いただき、事業自体の需要が高いことに改めて気付かされた。しかしながら、今年度も「いべんと西河原」や「国際交流協会」主催のスピーチ大会は中止となってしまう、集大成となる学びの成果を発表する場が失われてしまったのは、残念である。

また、指導者数の増員及び指導力の質の向上を目的として、新規ボランティア向け説明会と基礎講座を実施した。こちらも多くの方々にご参加、ご好評をいただくことができた。

令和4年度からWi-Fiホームルーターが導入となるため、インターネットを活用した新しい取り組み（最新の教材確保やリモート授業等）に注力したい。（高橋（公））

